

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 2月14日  
派遣決定番号  
報告回次 2日目

### 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	佐賀市	代表者名	坂井 英隆		
担当者部署	企画調整部	連絡先電話番号	0952407057		
担当者役職	主事	担当者氏名	当田 賢人	連絡先E-mail	
住所	8408501 佐賀県佐賀市栄町1番1号				

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	田中 淳一
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	本市においては、DXを推し進めるべき各部署で「他人ごとになっていて、DX推進室がやるものという認識」、「新規事業にDXと書いておけば上が納得するだろうみたいな認識」、「他人ごととしてのマインドやイメージが部下にも伝播してしまっている」、「今に満足していて、なぜ変えなければならないのかという腹落ちがない」といった風潮が残っており、市長も大変懸念している。 こうした風潮に対し、デジタル化が進みデータ前提社会へと大転換が起きている、それは地域として大きなリスクでもあるし大きなチャンスにもなる、そういう分岐点に今生きているという時代認識の説明で職員の心理的なハードルを下げ、DXの専門になし
アドバイザーへの要望事項	

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年2月10日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			10時30分	18時30分	0:00
				活動時間 (分)	420
3-2. 派遣場所	会場名	佐賀市役所	最寄駅	JR佐賀駅	
	所在地	佐賀市栄町1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

#### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	市長、企画調整副部長、DX推進室長・室員、職員	102 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市がスマートシティ構想を推進するに当たり、まずは足下の行政事務のDX化を推し進め、データ連携基盤にデータ供給を行う基礎固めを行う必要があるが、職員のマインドセット (何故業務効率化を行わねばならないか、何故今のやり方ではだめなのか、EBPMがなぜ必要か) ができていない。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	人口数や職員数の減少等の将来におけるマイナス要因を踏まえ、今のままの業務スタイルでよしとせず、DX推進をソリューションありきでなく、職員が腹落ちして進めるべきものであることを理解し、市全体でぶれることなくDX推進に取り組む組織の構築	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・三重県で動き出している「あったかいDX」での具体的な取組み (県下市町へのデータ利活用勉強会の実施や、県庁職員への「あったかいDX」の理念の分かりやすい動画による腹落ちを促す活動等) の披露 ・スタートアップ企業との今後の協業を踏まえた行政としてのコミュニケーションツールの在り方	
支援を受け改善又は解決された内容	市一丸となってDXを推進する場合に必要な組織体制、推進方法について、三重県で行っている実例の教訓を受け、今後の本市における推進体制検討のよい参考事例を得ることができた	

(具体的にご記入下さい)	の教授を受け、今後の本庁における推進体制快調のよい参事事例を得ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていないDX推進に向けた幹部職員のマインドセットを促すことができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 DXに取り組む意義への理解度や、取り組まなければならない時代背景等についてアンケートを実施した。ほとんどの職員が理解することができ、約8割の職員がDXに対して感じていたハードルが下がったと回答した。意義を理解したことで、DXに対する苦手意識が解消したと思われる。詳細は別	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	佐賀市公式スーパーアプリを核とした、民官共創によるスマートシティ構想の実現(市民・企業・地域・行政が一体となったデジタルを活用したまちづくり)	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

メイン会場の状況



サテライト会場の状況

